

5. カンピロバクター科 (Family *Campylobacteraceae*)

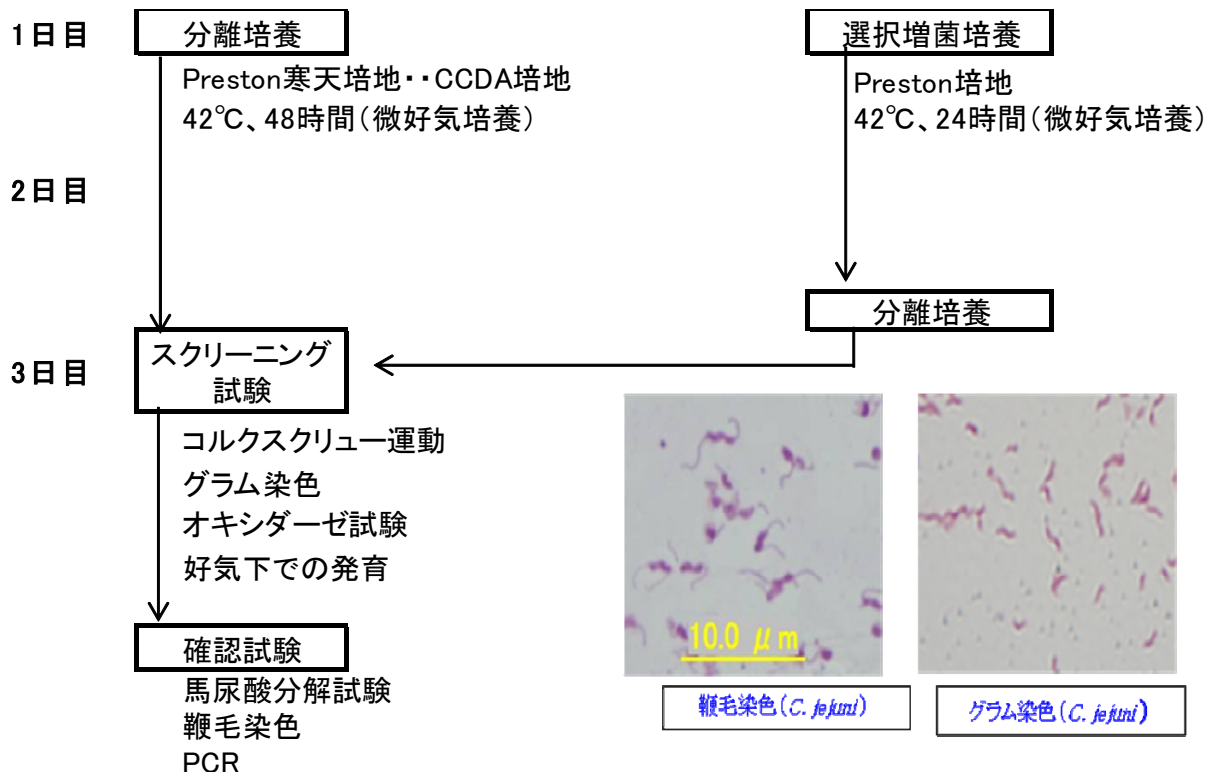
カンピロバクター属 (Genus *Campylobacter*)

- ・微好気性菌で、発育に3~5%の酸素を必要とし、約21%の酸素を含む空気中では発育できない。
- ・グラム陰性、らせん状の桿菌である。
- ・カンピロバクター (*Campylobacter*) は代表的食中毒原因菌で、*C. jejuni* や *C. coli* がある。

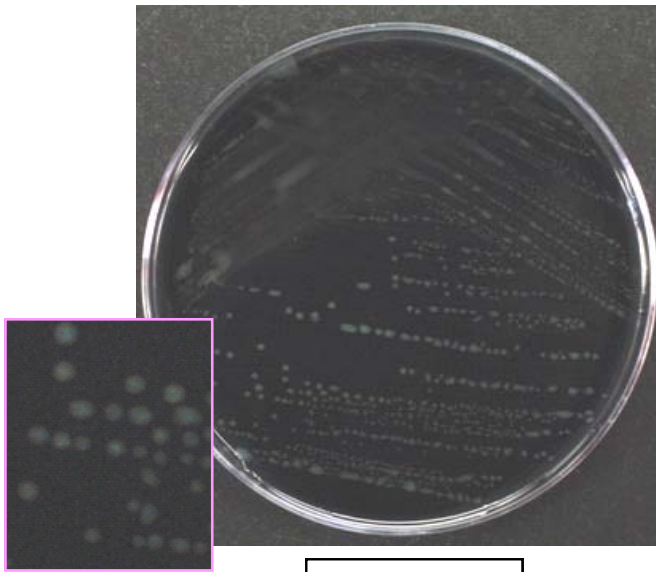


- ・1913年にMacFadyeanとStockmanによって、流産したウシから初めて分離された菌にその形状と運動性から *Vibrio fetus* と命名されたが、性状が異なることから新しい属とされた (*C. fetus*)。
- ・下痢症の原因菌として問題となったのは、Butzler (ベルギー) らの研究(1972)によるもので、その後、Skirrow (イギリス) により確認された。
- ・微好気性培養と培地の考案により、分離培養が一般の検査・研究室で可能になったことにより、現在では、食中毒の重要な原因菌である。

Campylobacter jejuni / *coli* の検査



CCDA 培地およびプレストン培地上のカンピロバクター

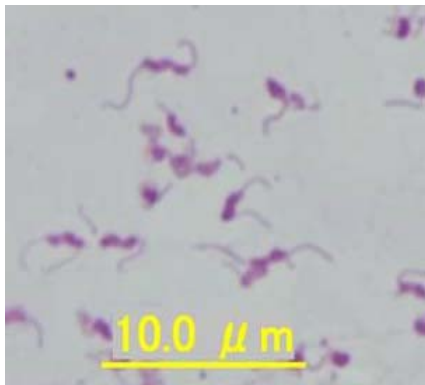


CCDA培地



プレストン培地

- 初期の分離用培地にはスキロー (Skirrow) 培地、プレストン (Preston) 培地、バツラー (Butzler) 培地があり (いずれも研究者の名前)、5-10%のウマあるいはヒツジの脱線維素血液と数種類の抗生物質が含まれる。CCDA 培地は、血液のかわりに活性炭末を含む。



鞭毛染色 (*C. jejuni*)



グラム染色 (*C. jejuni*)